

夢・モモ・ゆう・機関車後援会だより

NO. 16 2006・11・1

ホームページ! www.yourwing.org

待望の法人のホームページができました。NPOのIT化を支援する「NPO法人イー・エルダー」(東京都)から30万円の助成金をいただき作成(第1回NPOアクセシビリティ支援プログラム賞)。韓国語・英語・ドイツ語・フランス語にも対応して、来日を予定するワーキングホリデーの外国人にもアピールしています。早速、このページを見て、応募するドイツ人も現れました。

字の拡大・縮小、白黒反転などが画面上で容易にできるなど、視覚障害者に対するアクセシビリティにも考慮しています。ぜひアクセスください!

ホームページアドレス <http://www.yourwing.org>

e-mail info@yourwing.org

コンサート! フリマ! USJ!



地域の方々に出店いただくフリーマーケット(左上)や、ソウルシンガー新川麻子さん(右上)、フォークグループ「ツルビル」(右下)によるコンサート、またユニバーサルスタジオジャパンへの外出(左下)などイベントが次々と。

利用者さんの楽しむ表情を見るたび、多くの方々に活動が支えられていることを実感します。今後もより一層の活動の充実を目指します。

☆協賛企業一覧☆～代金の2～3%が後援会に寄付されます。ぜひご利用ください!

大手ツアー含む旅行全般は「**チューオーツーリスト**」0721-56-2170→担当: 石丸さん

住宅新築・改修は「**吉岡建設**」0726-21-0021→担当: 山本さん

リフト等の車両改造は「**ウェルビー**」072-228-2501→担当: 田中さん

「伝わらない反省」

勝野俊一郎（後援会員、毎日新聞記者）



昨年4月25日、私は兵庫県尼崎市にいました。運転士を含む107人が亡くなったJR福知山線脱線事故の起きた場所です。たんかで運ばれる血まみれの乗客、ひしゃげて原型をとどめていない車両、誰かの怒鳴り声――。断片的な記憶は今でも鮮烈に頭に残っています。

約1年後の今年3月、私はJR西日本の本社内にある「青灯クラブ」の担当になりました。交通全般が取材対象ですが、もちろん脱線事故が一番大きなテーマです。

事故後、JR西はさまざまな安全対策を打ち出し、何度も「お詫び」と「反省」を繰り返してきました。今でも就業時間が始まる午前9時になると原則的に全ての社員が黙とうし、社内にある事故犠牲者の追悼室には線香の煙がいつも立ち上っています。

にもかかわらず、今でも遺族や被害者、そして読者からも「JRは何を考えているんだ」という怒りの声が続いています。「反省」しているJR西の姿を毎日間近に見ているはずの私ですら、同じように感じる事が多くあります。一生懸命にやり直そうとしている彼らの「心」が伝わってこないのです。

今夏新聞などで話題になりましたが、事故後にJR西を退職した元役員が、すぐ後に関連会社の顧問や社長などに「天下り」していたことが明らかになりました。これはJR西が積極的に明らかにしたわけではなく、一部の遺族・被害者の方やマスコミが問い質して、しぶしぶ認めたとというのが真相です。

JR西の上層部は当然、この事実を知っていました。ではなぜ黙っていたのかというと、どうやら隠そうとしたというより、「元役員はいったん会社を辞めたのだから、その後については敢えて言わなくてもいい」と考えていた節があります。

けれど、まったく別の会社ならともかく彼らの就職先はすべてJRの関連企業です。遺族や被害者、世間が裏切られた、だまされたと思うのは当然でしょう。世の常として、こういう話はいつか明るみになるものです。バレた時に遺族や被害者、世間からどう思われるのかという想像力が完全に欠如していたといわざるをえません。

一連の「天下り」問題でショックを受けたのは遺族や被害者だけではありません。事故直後から遺族ら付き添っているJRの社員のなかにもまったく初耳だった人がいたといえます。献身的な働きで遺族の信頼を得てきた現場の社員にとって、この事実を伝

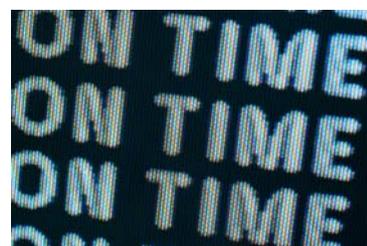
えるのがどれほどつらいことか。上層部の判断の誤りが、結果的に数多くの人たちを傷つけて、自らの信頼を損ねたのです。

「JR西の常識は世間の非常識」と言った人がいました。「国鉄以来の『親方日の丸』体質が悪い」という指摘も聞きます。確かにその通りなのですが、3万人以上もいる社員のすべてが「非常識」で「親方日の丸」ではないはず。 「天下り」にしても、口に出したか出していないかは別として、「おかしい」と思っていた人はいると思うのです。

問題は、そういう批判意見が、会社全体の方針に反映されにくい仕組みです。「天下り」がバレル前に、誰かが「それはあかんでしょう。被害者や遺族を裏切ることになってしまう」と強く主張して譲らなかつたら、少なくとも現状とは少しは違った結果になっていたでしょう。

「私たちが加害者というのは厳然たる事実。胃がおかしくなるような思いになる」。「(事故を) 思い出すたび、考えるたびに涙が出てきます」。事故から1年後に寄せられた社員の声の一部です。JR西が変わろうとしていることは私も認めます。ただし、批判や反対の意見が十分に生かされているとはいえない現状を見ると、「ほとぼりが冷め、何かきっかけがあつたら、JR西はすぐに元の状態に戻ってしまうのでは」という危惧もまた持たざるをえません。

戦後の日中、日韓関係を例に出すまでもなく、「反省」を相手に伝えるのは非常に難しいことです。JR西が本当に変わるまで、社内外の小さい声を拾い集めて、「それはおかしいで」と書き続けることが、私の一番大切な仕事だと思っています。



◆採用試験のお知らせ◆

○重症心身障害者の地域生活支援に情熱をもつスタッフを募集します。

リクナビ(<http://www.rikunabi2007.com/>)にアクセスした後、「NPO ウィング」で検索、エントリーしてください。詳細をお知らせします。

試験日 2006年11月25日(土)

会場 大阪市立社会福祉センター

募集 3名(20歳～35歳)

応募方法 施設見学を行った後、履歴書を提出してください。

問い合わせ先 特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ事務局
担当:菅野(すがの)、大槻 06-6656-1280



スケジュール!!



11月	12月	1月
7日(火) 施設イベント 「秋の大イベント」 於：福島区民ホール	3日(日) 「フリーマーケット」 於：Tamariba	6日(土) 映画鑑賞会 映画「不思議の国のアリス」 「ピーターパン」 於：Tamariba
11日(土) 外部利用 「学童太鼓練習」 於：Tamariba	6日(水) 講演会 「在日外国人の人権」 (梁弁護士) 参加費 100円 於：Tamariba	13日(土) 新春クラシックコンサート ピアノ、フルート、バイオリンなど 於：Tamariba 13:30~
18日(土) Tamariba クラブ(児童) 於：Tamariba	9日(土) 映画鑑賞会 映画「ジングルオールザウェイ」 「ナイトメアービフォアクリスマス」 於：Tamariba 13:30~	28日(日) 「フリーマーケット」 於：Tamariba 1000~1600
25日(土) 「採用試験」 於：社会福祉センター	16日(土) Tamariba クラブ(児童) 於：Tamariba	29日(月) 「福祉就職フェア」
	21日(木) 施設イベント 「クリスマス会」 於：西成区民ホール	

♪フリーマーケットや映画鑑賞会、コンサートなど様々な活動を行っています。特に Tamariba での活動は、一般の方にも開放しております。ご関心のイベントにぜひご参加ください。お問い合わせは、事務局(06-6656-1280)まで。



バッグや子供服など手作り品がずらりと並んだフリーマーケット=左写真。9月17日(日)開催のフリマは、近所の女性たちが手作り品を持ち寄って開催されました。ワイワイと賑やかな雰囲気の中、ロコミもあって、多くの人に足を運んでいただき、5万円の売り上げをあげたブースもありました。



「お礼」

ダミアン・ルパブ



私は2005年11月から機関車で働き始めました。このような仕事は初めてだったので不安でしたが、始めてすぐに素敵な仕事だなと感じたので、頑張ってみようと思いました。

スタッフの頑張っている姿は、私の励みになりました。利用者さんたちは何もすることができないので、私たちのスタッフは

いつも喜ばすことを考えて歌を歌ったり、料理をしたり、散歩に行ったりといういろんなことをしました。旅行にも行きました。もちろんいつも楽しいだけではなく、汚い仕事もやらないといけませんでした。でもそれは必要なこと、当然のことなので私にとって本当にこの1年間いい経験になりました。

スタッフの中で私1人、外人で、文化の違いで時々大変でしたが、みなさんに支えていただき、無事にこの仕事を終わることができました。日本語も皆さんのおかげで上達したと思います。スタッフの頑張り方には本当におどろきました。後、少しでこの仕事が終わりますが、やってうれしかったです。

日本での仕事の経験もでき、休みの日は日本中いろいろなところに旅行にいったこと、この1年間のことは忘れません。本当にお世話になりました。ありがとうございます。(原文日本語)

1981年生まれ。フランスのナント大学で日本語を学んで来日しました。小規模のデーセンター機関車の中、唯一の外国人とあって、苦勞も多かったようです。来日当初から日本語が堪能で、日本のアニメや映画、歌、ゲームが大好き。

帰国後は、母国で福祉の職業に就きたいとのことです。

【ワーキングホリデースタッフ】

2000年からスタートし、これまでに約50人を受け入れました。出身国は韓国、カナダ、フランス、ドイツ、ニュージーランド、オーストラリアと6カ国にのぼります。現在は留学生も受け入れており、韓国、中国、ドイツ、フランス、カナダの計10人の外国人スタッフが活躍。なくてはならない存在となっています。また、元スタッフのうち3人が日本の大学に留学中で、うち2人が福祉を学んでいます。



21世紀への航跡

～夢・モモ・ゆう・機関車の歩み⑮ 菅野真弓

「措置」から「契約」へ。自らがサービスを選び、契約をし、自身の責任のもと主体的に生きる—これがたぶん、少しでも可能になるかなと思わせる「支援費制度」に変わります、と2003年度最初の「後援会だより」でみなさまにお伝えしました。が、これを見極める間もなく、2006年度に新たな「障害者自立支援法」がスタートしました。この制度の大きな特徴、上限はあるものの、「応益負担」というサービス内容に関係なくサービスを受けたら「自己負担金」が発生することです。どんな些細なことにも支援を必要とする重い障害を持つ方にとっては死活問題です。どんどん「介護保険」に近づいていっているのでしょうか？



変化といえば、わたし達の組織もみなさまの応援もあって、関わっている障害者の方々は100ケースを超えました。スタッフ数も約70名(ワーキングホリデーの外国人スタッフやアルバイトなど含む)となり、15年前を思うと隔世の感がして、これが本当に現実なのか？と感じてしまうときがあります。組織が大きいことは信頼につながります。信頼を大切にすれば利用が増え、その結果、組織は大きくなる。今まではその循環で動いてきたようです。

スタッフ一人ひとりが少ない人的配置のなか、温めていた想いを形にすべく力を発揮したことによって、01年に法人取得(社会福祉法人・NPO法人)ができました。しかしこの法人取得は、一時的な目標にはなりえても永遠の目標ではないはず。これで何もかも可能になるわけではなく、01年は新たな目標のスタートだったのです。

法人取得は、わたしたちにより大きな社会的使命を課します。それまでは何事もみんな一緒に一丸になってやれたことも、やるが増えれば力は分散されます。そんな変化がスタッフ間のコミュニケーション不足を生み、当初の理念継承にまで波及という危うい状況がいま生まれつつあるような気がします。

「支援費制度」はサービスという名で生活を細分化し時間に置き換え賃金換算します。それは「措置」のときも生活が賃金換算されていたことに差はないのですが、細分化されたことで 時間＝お金が鮮明になりました。例えば、支給時間がもうないからできないとか この契約内容では付き添えないとか そういう言葉が交わされる。

以上のように、時間＝お金という意識(たとえ無意識であったとしても)少しずつ 少しずつわたしたちの心を侵食し NPOであることの意義すら時に忘れてしまっているのです。

(つづく)

報告させていただきます

1年間ご支援ありがとうございます。

◆2005年度決算◆ (2005年4月1日~2006年3月31日)

《収入》

会費	1851603
寄付	935727
預金利子	186
前期繰越	4964647
合計	7752163

《支出》

研修	29480
雑費	24544
合計	54024

収支差額 7698139 円

◆2006年度予算◆ (2006年4月1日~2007年3月31日)

《収入》

会費	2000000
寄付	1000000
前期繰越	7698139
合計	10698139

《支出》

施設支援 ※	1000000
合計	1000000

※ 各施設の運営状況に応じて支援します。

収支差額 9698139 円

【決算について】

決算報告が遅れて申し訳ありません。2005年度も多くの方にご支援をいただきました。どうもありがとうございました。以前からお知らせしている通り、現在、重症心身障害者のためのグループホームを計画しています。しかし、新たに施行された障害者自立支援法下でのグループホームの設置、運営には多くの困難が予想されます。現在はその設置、運営資金を確保する時期と判断し、2005年度も支出を控えました。2006年度もグループホーム設置に向けた資金確保を目標とします。ご支援よろしく申し上げます。

【グループホームについて】

地域から隔離した大規模な入所施設ではなく、地域の一住民としてスタッフの支援を受けながら、共同生活を送ります。保護者の高齢化もあり、当法人の利用者もグループホームでの生活を希望される方がいらっしゃいます。車椅子での生活が可能となる住宅改修や、夜間のケアを受け持つスタッフ体制の確立などが課題です。このため輪（つながり）という委員会を設け、スタッフや保護者で毎月話し合いを続けています。

ご継続ありがとうございました！ 会員継続の皆さん。敬称略

伊藤真美 有岡有子 高橋満穂 織田孝志 吉川啓二 吉川啓子 佐藤貴美江 栗富廣 奥村久喜
谷村圭造 谷村直子 新垣美佐子 (有)ウェルビー 林均 秋田正信 島田正子 山本ふみ 鶴田久
美 松井延子 玉置敦子 青木康 武居友子 小野幸子 阪口浩二 阪口瑞穂 山内鉄夫 迫田吉
生 黒瀬紀久子 小澤文恵 山田公夫 工藤ひとみ 岡本宏美 泉谷久子 瀧山恭子 松井子工ミ
田中貞子 高野郁子 和田和子 岩藤博明 谷彦範 木立和子 富田恵美子 開村信雄 神崎真理
子 魚井昭彦 三井ゆり子 八木秀雄 山谷端 田端淳恵 新垣真紀 原田浩 喜多庸雄 前畑常
男 吉本弘 筒井恵美子 仲谷アヤ子 岩下誠 利川慶子 利川竜男 小角隆 吉野宗代子 中島
裕文 井浪淳夫 松井優和 井村広道 下津恵美子 神田美穂 守山好子 本田恵津子 高野繁
勝山欣哉 貫野旬子 玉城初子 高津由之 吉村英子 島森きみ子 橋田恵美子 中西雅裕 中西
亜紀子 出野美佐子 片岡義治 中川直子 奥野吉清 岩戸美津江 齊藤治 天野大三郎 藤原律
子 伊藤武 岩城治佐子 瀬戸恵利子 進藤多代 国田淳子 福井博子 楠本恵亮 岩田昌代 酒
井佐和子 太田勅正 田辺美加 大原満 有尾則彦 山内照美 北川仁美 宮口笑子 光野浜子
丹羽幸子 齊藤雅子 朴時夫 岩本清 嶋恭加 酒井伸子 藤本雅大 向井万里子 溝渕啓子 山
中美也子 今北静 田川香 有尾雪江 小佐田茂博 吉岡建設(株) 山本裕信 後礼子 南部信子
平田清子 八木敏子 山崎康子 友田洋子 池川佳志 浅井久子 加藤世里子 萱野加津夫 西弘
太 高橋博子 前垣光義 前垣朱実 北川昭子 八谷秀孝 岡本潤和 秋山晃也 大井知子 吉田
肇 山之内増男 筑紫歳子 高卯富榮 川上広子 山本春代 光安寿三郎 岡田満喜子 管洋子
竹本純子 高橋紀代香 今宿幸男 奥田裕子 田中弘子 山下淑子 根田由美子 藤田洋土 福井
克次 心光直人 上中登茂子 五味侑子 小山美由紀 橋田奈穂 米丘幸穂 西田淳 牧迫民子
青木フミ 龍昌子 神童美代子 川辺洋子 伊藤隆博 武内計二 夏川町子 田中保治 奥津矩男
金澤真理子 橋田旨人 藪田一男 齊藤真弓 葛川久美子 羽白育子 佐藤宣雄 木村時計眼鏡
店 仲地弘 大畑典子 石川知樹 石川豊 平田美子 秋田雅伸 太田幸子 森下浩次 清水洋子
米津勝 有尾克ひこ 有尾かほる 藪内朝吉 藪内資子 飯野裕子 末次貞子 花田幸雄 中島裕
文 池本勤 池上英子 石田淑子 堀政治 石田公德 泉谷美千子 米津節子 山地はるみ 三和
宏行 岡力ネ子 西村英八郎 成田美枝 太田貴久 坂本由美子 阪下由記子 山川瑠美 井浪克
己 岡村恵子 斎藤和子 玉里光一 堅田順一 匿名(3名) 才才夕整骨院 今中正己 松村博明
井村広道 小林久子 福田正人 福田純一 福田六夫 常松清吉 常松佐千子 西野茂 南部謙二
谷川予枝子 出野美佐子 大槻英夫 大槻文恵 福田知恵子 岡田和子 富田俊哉 山地雄平 山
崎正則 山崎陽子 山崎圭三 殖栗美和子 中恵美子 野田比奈 大宮恵子 南大阪交通(株) 沢辺
みかよ 平田雅美 森智子 田中光代 万代義彦 前川裕子 笹田伸一 笹田智佳子 伊藤康夫
榊原万友文 北風哲志 乃一知子 畑まみ 浅井美和 朝倉裕子 中村尚子 (有)二フコ 中東妙子
東田幸雄 宮部秀和 宮部智勢子 奥野温子 竹中和郎 村林節子 永和信用金庫天下茶屋支店
田端悦子 池田峻 飯田香久子 山中富美男 葛川香澄 石川典子 濱崎幹夫 濱崎道子 福島和
子 小林裕子 橋田龍志 大橋清 太田景子 永野明秀 山中和男 木村朋毅 柳川敏美 大槻文

恵 中南美千子 竹林典子 山田正雄 有尾祐彦 坂本利枝 山口留美子 井浪洋夫 平井義丸
柏原トモ工 遠田容子 遠田至 遠田順子 西澤武則 森公子 村山真知子 川畑さよ子 小西
孝子 寺下美佐子 有尾則彦 麻埜淳子 開村信雄 荒木節子 森下美津子 廣本三枝子 岸田泰
子 筒井恵美子 南里泰博 平井毅 安藤まゆみ 堀田治美 山口敦子 野間加洋子 坂東澄保
坂東智子 勝山毅 宮本恭子 山之内増男 勝山裕子 安西岑之 中道順子 山成嘉子 岩本和美
吉見基子 杉本マリ 田中貞子 大浦登喜子 瀧山恭子 飯田淑子 前堂則子 太田晴美 高井靖
明 加藤孝子 加藤晶子 北徳太郎 新垣良悟 岡崎正子 宮本謹 大川美代子 西田フミ子 森
田新一 森江行雄 三島隆一郎 親泊太助 丸山有子 小澤文恵 蔵内末子 中橋弘晃 桐野耕一
織田孝志 山内鉄夫 金本京子 武居友子 青木康 秋田正信 高橋満穂 原田啓司 松井延子
黒瀬紀久子 小野幸子 橋田有造 森葉子 牧迫民子 伊藤甚造 迫田吉生 川崎隆夫 高野郁子
島田政子 本多恵津子 神崎修 山浦次郎一 山浦美和子 岩藤博明 林均 林和子 林隆
文 玉置敦子 上原悌江

ご支援をお願いします！ 新会員の皆さん。敬称略

金賢柱 新垣真紀 新垣良樹 武内要三 田中トシ卫 河合裕美 岡田萬里 橋田友美 田端淳恵
橋田有造 荒岡良二 木村隆克 中尾卓司 市川一 黒崎剛志 鈴木友康 鈴木貫太郎 足立直己
堀内有子 織田嘉彦 織田八郎 織田浜江 東條克江 村山龍一郎 堀本京子 尾谷富美子 村
野知子

ご寄付・寄贈いただきました！ 敬称略

西淀川養護学校 神崎真理子 光陽養護学校 橋田国身 梅田昌宏 出野幸雄 菅野眞弓 小林
美穂 北川久子 永和信用金庫 チューオーツーリスト 奥津民子 西岡由子・大湖・光
海・広空



インスタントコーヒーの空き瓶に
詰まった約 25000 円！奥津さんは
お泊り時に余った小銭をコツコツ
貯金して寄付くださいました。

永和信用金庫天下茶屋支店の社員の方々が
お給料から貯めた 10 万円を寄付いただき、
利用者さん用のリラクステアを買わせ
ていただきました。



【後援会よびかけ人】

赤松成明（元毎日新聞編集委員） 犬伏一人（読売新聞記者） 羽柴修（弁護士）
富田佳志（朝日新聞記者） 小西威史（月刊誌「ソトコト」編集部） 堀内正美（俳優）
増田耕一（毎日新聞新規事業開発室長） 松本賢志（時事通信記者）
山沖之彦（プロ野球解説者） 梁英子（ヤン・ヨンジャ 弁護士）

Tamariba クラブがはじまりました。

近所の小学生を対象に工作や遊びを通じて友達作りを目指す「Tamariba クラブ」がスタートしました。9月～12月の限定期間。一般公募の小学生らが月1回、土曜の午後を楽しんでいます。



← ← ← ← ←

ダンボールで何ができるのでしょうか？

→ → → → →

大きな人間キャタピラ。子供たち大喜び！



200枚、40000円！

日中活動で作成したポストカード200枚を10月18日、大阪市に納入しました。第61回大阪市民生委員・児童委員大会の記念品として採用されたもの。皆で一生懸命作った成果は、40000円。来年4月、リサイクルショップの売り上げと合わせた後、皆で等分していただきます。



▼人間の生活を排泄、食事、入浴などと細かい部分に分けて支援をする。まさにその支援技術のオンパレードが国際福祉機器展（東京）でした。

▼カプセルに入ると、自動で全身を洗ってくれる機械。排泄すべて、温風で乾燥まで自動で行う機械。他人の手を必要としないことを、「冷たい介護」というのは安直です。

▼しかし、部分の技術を支援として生かすのは、各部分を統合し、生活に結びつける力。それへの支援がなければ、企業が笑うだけ。そこそが支援の本質ではと。

発行：「夢飛行・モモの家・ゆうのゆう・機関車」後援会 郵便振替口座 00900-4-157766

E-mail info@yourwing.org 年会費 1口 3000円(個人) 10000円(団体)

〒557-0042 大阪市西成区岸里東1の5の25

「特定非営利活動法人 W・I・N・G-路をはこぶ」内 TEL 06-6656-1280

後援会ホームページ <http://www.h7.dion.ne.jp/~yumekoi>(夢来い)

法人ホームページ <http://www.yourwing.org>